

No.  
**117**

北里大学病院ニューズレター  
「窓」

# Mado



写真 上段左から岩村病院長、浅利副院長、別府副院長、下段左から小林理事長、高相副院長

**2019**

## 新年のご挨拶

北里大学病院 病院長 岩村 正嗣



## 新年のご挨拶

北里大学病院 病院長 **岩村 正嗣**

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は皆様より格別のご支援とご厚情を賜り、心より感謝申し上げます。

いよいよ5月から元号が改まり、新しい年が始まります。大学病院では2020年の東病院の移転・統合に向け、本館西側に新たな施設（仮称4号館）を建設する工事が本格化します。この移転・統合計画につきましては、多くの皆様にご心配をおかけしたことを改めてお詫び申し上げます。移転・統合プロジェクトは移転する部門の規模は適正化するものの、基本的な機能は温存するというコンセプトで進められています。したがって新たに建設する4号館には現在の東病院の診療機能を集約し、1階には精神神経科外来と小児在宅支援病棟、被爆医療施設、2階には精神神経科病棟、3階には回復期リハビリテーションセンターと心臓二次予防センターを配置し、今後は北里大学病院の中で、文字通り東病院と一体化した医療を展開し、引き続き地域に貢献していきたいと考えています。

ポスト急性期から回復期、在宅支援を担う部門を集約させていた東病院が、2020年には特定機能病院である大学病院に統合されることになり、医療圏における病診連携、病病連携をより強固なものにしていくことは私どもにとって喫緊かつ最も重要な課題です。国が進める地域包括ケアシステムをこの地域で構築する上で、北里大学病院が果たすべき役割をしっかりと認識し、責任を持って担う体制を作っていかなければならないと考えております。地域連携強化の取り組みとして、私ども北里大学病院はトータルサポートセンターを中心に、2016年より地域の医師会・病院協会の方々にご参加いただいて相模原地域医療連携協議会を開催し、大学病院に対する多くのご意見・ご要望を頂戴いたしました。また、昨年11月26日には、相模原市医師会中央区・南区合同病診連携の会を開催し、大学病院の現状や診療におけるトピックスをご紹介することで近隣の医療機関のみなさまとの情報交換ができたと考えております。

私ども北里大学病院・東病院がこれからの地域医療にどのような役割をはたすことができるか、それは地域の皆様のご指導とご理解、ご協力にかかっております。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

北里大学病院 責任者一覧

2019年1月1日現在

病院長 (相模原総括病院長)	岩村 正嗣
副院長 (診療担当)	浅利 靖
// (教育・研修統括担当)	佐藤 之俊
// (医療支援・渉外担当)	高相 晶士
// (人事・労務環境担当)	武田 啓
// (危機管理・医療安全担当)	阿古 潤哉
// (患者支援・チーム医療担当)	別府 千恵
病院長補佐 (経営戦略・広報担当)	佐々木治一郎
// (臨床研修担当)	佐藤 武郎
// (医療支援・地域連携担当)	田邊 聡

診療科	科長名	診療科	科長名
総合診療部	青山 直善	心臓血管外科	宮地 鑑
消化器内科	小泉和三郎	呼吸器外科	佐藤 之俊
内分泌代謝内科	七里 眞義	整形外科	高相 晶士
循環器内科	阿古 潤哉	形成外科・美容外科	武田 啓
腎臓内科	竹内 康雄	脳神経外科	隈部 俊宏
血液内科	鈴木 隆浩	眼科	庄司 信行
神経内科	西山 和利	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	山下 拓
膠原病・感染内科	山岡 邦宏	泌尿器科	松本 和将
呼吸器内科	猶木 克彦	婦人科	恩田 貴志
救急内科	青山 直善	産科・MFICU	望月 純子
精神神経科	宮岡 等	小児科	浅利 靖
皮膚科	天羽 康之	小児外科	田中 潔
放射線診断科	井上 優介	麻酔科	岡本 浩嗣
放射線治療科	浅利 靖	救命救急・災害医療センター	浅利 靖
一般・消化器外科	渡邊 昌彦	遺伝診療部	高田 史男
乳腺・甲状腺外科	仙石 紀彦		



## 相模原市医師会中央区・南区合同病診連携の会を終えて

トータルサポートセンター長  
医療支援・地域連携担当 病院長補佐 **田邊 聡**

2018年11月26日、相模原市医師会中央区・南区合同病診連携の会を開催いたしました。本会は相模原市の中央区・南区の先生方からのご依頼で、病院紹介をかねて連携を深める目的で企画されました。相模原市内の病院を相模原市医師会の先生方に順番に紹介しており、今回当院が担当することになりました。当日は相模原市医師会関係者（事務局を含む）58名、北里大学病院執行部14名、北里大学病院地域連携推進委員他34名、トータルサポートセンター職員27名、計133名の参加がありました。会を開始する前に、希望者のみ内視鏡センターと集学的がん診療センターを短時間ではありましたが、見学していただきました。IPEホールを会場として相模原市医師会会長竹村克二先生に開会のご挨拶をいただき会が始まりました。北里大学病院から、岩村正嗣病院長、高相昌士副院長、田邊聡が挨拶をした後、北里大学病院、東病院執行部の紹介をいたしました。続いて、浅利靖副院長から「救命救急・災害医療センターの現実と課題」と題して講演がありました。断らない救急医療を目指して診療を行ってききましたが、スタッフの高齢化、働き方改革などの影響から、現状を維持するのが厳しく、受け入れを制限することも考慮しなければならない旨を話されました。

その後、大学病院本館6階職員食堂に移動し、情報交換会を行いました。相模

原市医師会理事うめざわクリニック院長梅澤慎一先生が司会をされ、相模原市医師会理事青葉ふたまたクリニック院長二俣健先生の乾杯のご発声で会がスタートいたしました。当院からはほとんどの診療科の医師が出席し、会場は一気に熱気に包まれました。当初は、内科系と外科系の診療科に分けてテーブルを設定しましたが、結局会場内は多くの人で埋め尽くされ、密接な交流が行われました。あっという間に終了の時間となり、相模原市医師会理事博愛医院院長陳勁一先生の中締めのご挨拶で閉会となりました。普段の紹介状のやり取りでは得られない貴重な交流が図られたと確信いたしました。超高齢化社会を迎え、相模原市医師会の先生方とのより顔の見える病診連携が必要であり、その第一歩となる貴重な会になったと思います。当日、忙しい中ご参加いただきました相模原市医師会の先生方に深謝いたします。

今後とも、連携業務の推進に努めていく所存ですので、より一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

